

講習の名称：家庭科の授業づくり

担当講師：小林 陽子（教育学部准教授）

講習開講日：令和2年8月20日（木）

時間数：6時間

主な受講対象者：家庭科を担当する小・中・高・特別支援教諭  
家庭科の授業改善に興味のある教諭

キーワード：授業づくり、授業改善、ものづくり

講習の概要：家庭科における授業づくりの考え方と方法を、実践例などを参考にしながら学ぶ。また、小・中・高等学校や特別支援学校の学習内容、児童・生徒の実態、授業の困難点や課題について情報交換する。そこから、改善点を考え、家庭科の授業づくりのヒントを得る。簡単なものづくりの実習も行う。

講習の展開： 第1時間目 家庭科における授業づくりの今日的な課題  
第2時間目 家庭科の授業に関する情報交換  
第3時間目 製作活動  
第4時間目 家庭科における授業づくりの方法

受講に当たっての要件（講習内容のレベル）： 特になし。

授業の形式： 講義形式（一部グループワークや実習の時間を組み込む）。

履修認定試験： 論述形式の筆記試験（ノートと配布資料は持ち込み可）  
講義を通して受講者が家庭科の授業づくりに関して、どのように考察を深めたのかを確認する。

テキスト・参考文献： プリント配布

持ち物： 裁縫道具（はさみ、針程度でよい）